

学力向上だより “継続と徹底”

第25号 H29.4.3 (月)
佐賀県教育庁教育振興課

平成 29年度が始まりました。各学校では、新年度のスタートにあたり、新たな気持ちで取組を進めようとしていていると思います。

今年度も引き続き“継続と徹底”をキーワードに、学力向上だよりを通して、学力向上に関する有益な情報の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

PDCAサイクルを意識しながら取組を進めましょう！

学校における学力向上のPDCAサイクルについては、これまでもお伝えしてきましたが、前年度中に、12月調査の結果から明らかとなった課題の解決に向けた取組計画（PDCAサイクルの「P」）を立てていただいています。

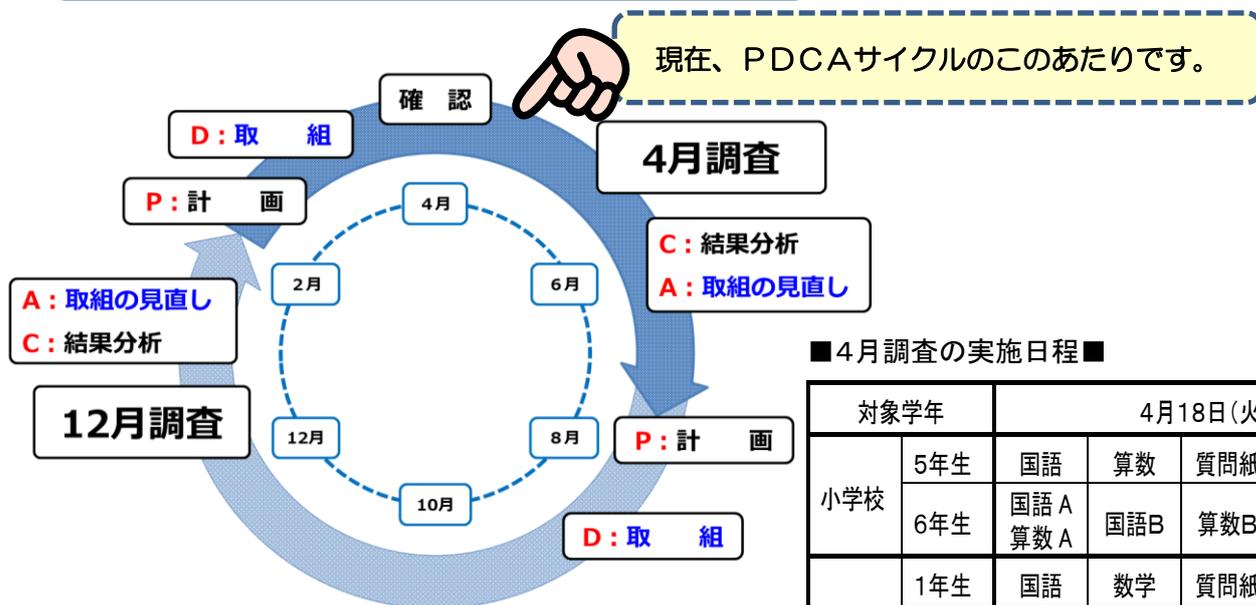
現在は、新しい体制のもと、取組内容を全職員で確認するとともに、必要に応じて修正や追加を行った上で、スタート（PDCAサイクルの「D」）させる時期です。

また、これら共通理解のもとに全職員で組織的に取り組んだ指導の効果を確認する機会が4月と12月の学習状況調査（PDCAサイクルの「C」）です。

両調査とも、その間の取組等を評価する機会となることから、その評価を踏まえ、取組の改善が必要なものを洗い出すとともに、必要な対策を講じること（PDCAサイクルの「A」）で、ステップアップを図っていくことが大切です。

いずれにしても、期待する成果のためには、このサイクルを念頭において取り組むことが効果的と考えますので、このことを再認識した上で、計画的に子どもたちの指導にあたってくださいようお願いします。

H29 学校における学力向上のPDCAサイクル



■4月調査の実施日程■

対象学年		4月18日(火曜日)				
小学校	5年生	国語	算数	質問紙		
	6年生	国語A 算数A	国語B	算数B	質問紙	
中学校	1年生	国語	数学	質問紙		
	2年生	国語	数学	質問紙		
	3年生	国語A	国語B	数学A	数学B	質問紙

平成29年度の学力向上対策では、主に次のことに取り組みます！

県教育委員会では、児童生徒の学力向上を佐賀県教育の最重要課題として捉え、そのために必要な取組を行っています。平成29年度は主に次のことに取り組み、児童生徒の学力向上を目指します。

1 PDCA（検証改善）サイクルの確立に向けて

全国学力・学習状況調査及び佐賀県小・中学校学習状況調査を活用したPlan（計画）、Do（取組）、Check（結果分析）、Action（取組の見直し）を一連のサイクルとして、確立・機能させることにより、課題の抽出・指導方法の改善等を推進し、児童生徒の学力向上を目指します。

- [佐賀県小・中学校学習状況調査の実施](#)
- [全国学力・学習状況調査の実施](#)



2 学校支援の充実

[学力向上推進教員による学校支援](#)

学力向上推進教員10名（小学校5名、中学校5名）が、教育事務所や市町教育委員会と連携しながら、教師の指導力向上のための支援を継続的に行います。

- [調査結果の分析に係る教育事務所及び教育センターによる学校支援](#)
- [授業改善に係る教育事務所及び教育センターによる学校支援](#)
- [「授業づくりのステップ1・2・3」を活用した授業改善の取組](#)
- [学力向上だより“継続と徹底”の発行による学力向上に関する情報提供](#)
- [各教科等部会との連携による分析結果を踏まえた学力向上の推進](#)



3 補充学習の充実

基礎学力の定着と学ぶ楽しさを通じて、生徒の学習意欲を喚起するとともに、学習習慣の確立を図るために、地域人材を活用した補充学習の実施に向けた支援を行います。

- [放課後等補充学習支援事業の実施](#)

4 児童生徒の活用力の向上

研究指定校（16中学校区49校）において、国語、算数・数学を中心に各教科における基礎的・基本的知識や技能の習得及びそれらの活用力を高めるための授業等に関して研究実践を行い、その取組や成果を県内の各学校へ情報提供するとともに利活用を図ることで、教員の指導力向上及び児童生徒の学力向上を目指します。

- [児童生徒の活用力向上研究指定事業の実施](#)
- [佐賀大学附属小・中学校（研究協力校）による研究実践](#)

5 家庭・地域の教育力向上

- [佐賀県PTA連合会との連携](#)
- [学力向上フォーラムの開催](#)
- [家庭学習の手引き保護者用リーフレットの配布](#)

